

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2216回 例会 2018年8月29日(水)

- | | | |
|------------------|---------|--|
| ■国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズ [®] ハイツ101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<第2216回 例会プログラム>

12:30	点鐘	高橋一彦会長
	ロータリーソング斉唱	
12:33	お客様紹介	大川高明会長エレクト
12:35	会食	
13:00	会長挨拶・報告	高橋一彦会長
	幹事報告	小澤直之幹事
13:05	会員増強計画の立案	

会員増強・職業分類委員会 沖 昌彦 委員長

13:25	本日の社会奉仕基金発表	社会奉仕委員会 大塚精一委員長
	本日のニコニコ発表	ニコニコ・出席・親睦活動委員会 崎谷延好委員
13:30	点鐘	高橋一彦会長

<会長挨拶・報告：高橋一彦会長>

先週の土曜日に地区による委員会セミナーが開催され、増強セミナーには沖委員長・大川隆永副委員長・小澤幹事。そして米山セミナーには池田委員長と私で参加してまいりました。

大変に暑い天候でありましたが、お疲れ様でございました。

尚、各委員長におかれましては後の報告等に関して宜しくお願い申し上げます。

さて、本日の朝日新聞で天声人語のコーナーでも取り上げられておりましたが、漫画家の「さくら ももこ」さんが53才でお亡くなりになりました。

アニメの「ちびまる子ちゃん」と聞くとご存知の方、そうでない方もいらっしゃると思いますが、私個人では作者と同年齢なので大変に共感を得た作品でございます。

昭和後半から平成に渡り、世間一般の生活を独自の視点より漫画、エッセー等に展開し国民を楽しませてくれた存在と思います。年号は変わりますが平成と言う中で大変に活躍された方ではないかとの感想を持ちます。

また、作品の中には人情、家族愛、また生まれ育った地域への思いが随所に組み込まれており、人としての道徳倫理がうかがえる場面も多々ございますので、ご興味をお持ちの方はご覧になられたら如何でしょうか。

私も「漫画世代」「新人類」などと表された世代ではございますし、現在の若者も「ゆとりの世代」などと呼ばれているのは皆様もご承知と存じます。人との関わり方や情報収集、また習得・理解の仕方も多種多様になっていると感じる現在です。

ロータリークラブのメンバーも各年代層の集合体でございますので、数年後には、平成生まれの会員が入会してくる事であろうと予想されます。

我がクラブとしても日々の努力から、さらに安定したクラブを築き、若き良き人材をメンバーとして迎え入れる事ができれば大変に嬉しい事と思えます。

クラブ活動においても時代の流れを上手く取り組み、世代を超えた楽しみを会員が共有できるよう、良質クラブ構築に努力して参りましょう。



< 幹事報告：柳孝実副幹事 >

- (1) 流山中央ロータリークラブより活動計画書が届いています
- (2) 松戸市花火大会への寄付のお礼状が届いています
- (3) 9月のロータリーレートは、1ドル＝¥112となります



会員増強計画の立案

< 会員増強・職業分類委員会 沖昌彦委員長 >

「増強・維持拡大セミナー」の報告

若い会員の増強は、クラブを維持していくための最重要課題であります。どうして会員増強が必要なのか？これに一体どういう意味があるのか？という、会員増強は、クラブのすべての問題を解決します。

まず、経済的な問題です。人数が少なくなってくると、会費も少なくロータリー活動をしている場合ではなくなってしまう。また、クラブが活性化しなくなってくるし、人材不足という問題も発生します。

これらの問題を会員増強をやらずして解決することはほぼ不可能であり、会員増強こそすべての問題の解決手段であります。

そこで、皆さんがロータリーの未入会員と話していて、ロータリーの話になったときは、必ず話の最後に「ロータリーに入りませんか」と声をかけてください。この一言を言わないばかりに、いろんな未入会員を逃してしまっています。

皆さんが臆病になっているのは、相手から入会しないといわれた時のショックです。断られると、あたかも人格を否定されたように感じてしまう人もいるでしょう。しかし、入会するかしないかは相手の問題であり、神の領域です。

聞いてダメならその時は引いて、また来月言ってみればいいだけのことです。

また、未入会員を誘うときに、「ロータリーについて何か良い説明の仕方はありませんか」と聞かれることがあります。良い説明は必要ありません。皆さんの中にロータリーを熟知して入会した人は一人もいないと思います。

付き合いが、屋をご馳走すると言われ騙されて例会に連れてこられたか、あるいは強制的に入会させられたかのどれかだと思います。

でも、皆さんは今までロータリー活動を続けてこられています。つまり、うまい説明はいらないということです。

会員増強をするためには、いかにうまく人間関係を構築していくかにかかっています。この人間関係をうまく構築していくキーワードは「態度」であります。皆さんは、自分の態度を自分で決められます。



< 沖昌彦委員長 続き >

皆さんの周りの方は、皆さんの態度を見てそれに合わせて自分たちの態度を決めています。

皆さんの態度がすべてその通りの結果をもたらすことになります。

素晴らしい態度には素晴らしい結果が、普通の態度には普通の結果が、ダメな態度にはダメな結果がもれなくついてきます。

では、どのような態度が素晴らしい態度なのか？

それは4つあります。

1. 言われたことはすぐにやる
2. 心のこもった態度でやる
3. 相手にそこまでやってくれたかと思われるほどやる
4. 1～3までを笑顔でやる

です。

世の中で成功するためには、仕事の種類は関係なく、そのやり方です。

人間には3匹の「たい」が住んでいます。

「褒められたい」

「認められたい」

「役に立ちたい」

です。

これらを使いこなしくましく人間関係を構築し魅力ある人間になっていくことが重要です。

それでは、魅力的な人とはどういう人でしょうか？

人は自分のことを好きだと言ってくれる人、自分のことに関心を寄せてくれる人が大好きです。

人生の大切なことはすべて他人が決めます。営業の売り上げは相手が決めますし、サラリーマンの給料は社長という他人が決めます。

結婚の申し込みをしても決めるのは相手であります。

だからコミュニケーションが重要です。

アメリカの社長にアンケートを取ったら、70%以上の人と同じ答えでした。

それはコミュニケーションを徹底的に勉強したからですと答えたそうです。

人は事実ではなく言葉に反応します。

人は相手を褒めることも、けなすこともできます。褒めることで、この相手の人は自分の人脈の一人になってくれるかもしれません。

相手を褒めるのか、けなすのか皆さんはどちらを選びますか？

つまり、本当のことに意味はありません。相手を褒め、共感していくことが人間関係で重要なエッセンスであり、増強をしていくためにも役立つものであります。

研修に参加しまして、会員増強は各ラブ全体の問題でありますので、会員皆さんと一緒に考え、一緒に活動していくために会員一同が同じ思いを共有し、協力し合っていく必要があると感じました。皆様のご協力をお願い申し上げ、セミナーの報告とさせていただきます。

WEEKLY REPORT

<米山記念奨学会委員長 池田清委員長>

「米山記念奨学会委員長セミナー」の報告

2018年8月25日 午後1時30分より

米山記念奨学会委員長セミナーが千葉商工会議所大ホールで開催されました。高橋会長と私が参加いたしました。

会議に先立ちまして講演がありました。

2015年～2017年度まで米山親善大使で愛知ロータリークラブ会員で中国出身のウェイさんという方の講演でした。

1年に50回位講演をするそうで上手な日本語でお話をしてくれました。

会議に入りまして本年度2790地区では27名の米山奨学生を決定したと発表がありました。お金の話が中心で寄付金の増進をお願いしたいとお話でした。

松戸北ロータリークラブでは10月の米山月間には、1会員1万円の特別寄付金をお願いします。

以上を米山記念奨学会委員長セミナーに参加した、その報告とします。



<ニコニコ・出席・親睦活動委員会 淵上啓太委員長>



会員誕生日 8月21日 井桁裕之の会員



<本日のニコニコ発表：寺川忠男副委員長>

井桁裕之 会員



誕生日祝いありがとうございます。53才になりました。個人で誕生日祝いをいただくのは何十年振りだろうかと思います。今後もよろしくお願いします。



社会奉仕基金 3,060円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯